

JSAF 外洋特別規定 2012-2013 改訂速報

目次

ページ 1～2	1.ISAF Offshore Special Regulations2012-2013 変更箇所 (モノハルカテゴリー3・4)
ページ 3	2.JSAF 外洋特別規定 2012-2013 日本特記・注釈などの変更点
ページ 4	3.JSAF 外洋特別規定の基本
ページ 5～8	ISAF OSR2012-2013 変更箇所【速報】 カテゴリー3
ページ 9～12	ISAF OSR2012-2013 変更箇所【速報】 カテゴリー4
ページ 13～14	JSAF 外洋特別規定の日本特記・注釈変更項目【予定】 カテゴリー3
ページ 15	JSAF 外洋特別規定の日本特記・注釈変更項目【予定】 カテゴリー4
ページ 16	JSAF 外洋特別規定 解釈表【予定】

以下に JSAF 外洋特別規定に改訂に関する速報を掲載します。最終的には今年度中に発表される規定本文にて確認ください。以降の変更予定は大きく変更されませんが、日本語訳や表記方法の統一など多少表現変更や誤字訂正などが行われるかもしれません。

1.ISAF Offshore Special Regulations2012-2013 変更箇所 (モノハルカテゴリー3・4)

1-1.別紙「ISF OSR2012-2013 変更箇所【速報】」参照。

モノハルカテゴリー3 で 29 項目、モノハルカテゴリー4 で 27 項目の変更。

設備や備品の多くが ISO 基準に変更されてきた。

1-2.変更の主なポイント

1-2-1.消防カバーの追加（モノハルカテゴリー3・4 共通）

OSR4.05.4 A fire blanket adjacent to every cooking device with an open flame

<参考訳>裸火によるあらゆる料理用装置の近辺に消防カバー

* カテゴリー3 では 3.20 にて炊事用設備の搭載が義務づけられている。

カテゴリー4 には義務づけられていない。従って炊事用設備を搭載していなければ不要である。ただし規定に関わらず炊事用設備を搭載していれば消防カバーも必要。

<市販品の例>

RS コンポーネンツ株式会社

価格 7,200 円（1 個購入時単価） 6,480（12 個購入時単価） 5,040（25 個購入時単価）

<http://jp.rs-online.com/web/p/fire-extinguishers-accessories/3779383/>

株式会社モノタロウ

価格 15,461 円（メーカー：アアズワン）

<http://www.monotaro.com/g/00250727/>

日本ジェネティクス株式会社

価格 22,700 円

http://www.n-genetics.com/product_detail.html?item_id=2765

1-2-2.レーダーリフレクター（モノハルカテゴリー3・4 共通）

3 種類からの選択制となった。

OSR 4.10.1 a) i の適合品は以前から販売している。

<市販品の例> マリンサービス児嶋 価格 8,610 円

OSR 4.10.1 a) ii の適合品は 2010 年から販売している。

* 日本国内においては 22 年（2010 年）10 月 1 日以降の建造船はこのタイプの搭載が新基準となっている。

<市販品の例> 株式会社ユーアールエー 価格 29,925 円（TREM 社製）

三洋商事株式会社 価格不明（トーテックス社製）

新基準の詳細は右記参照 <http://www.jsaf-anzen.jp/pdf/radarhanshaki.pdf>

OSR 4.10.1 a) iii の適合品は単体で販売しているか不明。

<市販品の例> 円筒形の市販品では単体で 2 m²か 4 m²の物は市販品として確認済み。

1-2-3.ストームジブの視認性が推奨から義務へ（モノハルカテゴリー3・4 共通）

OSR 4.26.2 a)が推奨項目から義務項目へ

* 視認性の高い色部分の面積が明確化（セールエリアの 50%以上）。現状のセール要確認。

* 2014 年 1 月以降「購入」するストームセールは素材そのものが視認性の高い色である必要が有る。

1-2-4.モノハルカテゴリー4 からトライスルが削除（カテゴリー4）

OSR 4.26.4 g)の適用カテゴリーがモノハルマルチハルカテゴリー3 のみとなり、カテゴリー4 が外れた。

2.JSAF 外洋特別規定 2012-2013 日本特記・注釈などの変更点

2-1.英文を規定正文とする。

日本特記部分を除き、英文を正文とし訳文部分は参考文とする。JSAF 外洋特別規定の体裁は左に英文、右に訳文を予定している（RRS と同様の体裁）。

2-2.規定の整理

規定本文においては「規定（日本特記を含む）」のみを記し、解釈などの注意書きは別表にまとめる。

2-3.JSAF 外洋特別規定 2012-2013 のポイント

別紙「JSAF 外洋特別規定日本特記・注釈変更項目【予定】」、「JSAF 外洋特別規定 解釈表【予定】」参照。

2-3-1.通信設備は ISAF-OSR に準拠 1（カテゴリー3）

OSR 3.29.1 a)の船舶無線送受信機に代わる携帯電話の使用特記は削除。

→船舶用無線送受信機の搭載義務。

注) 1.「船舶用無線送受信機」が VHF の場合は OSR 3.29.1 b)に準拠した物。

注) 2.主催レースにおいて「船舶用無線送受信機」をある特定の機器（例えばサットコムなど）に限定する場合は、レース公示に明記すること。また、レース公示の発表は指定機器を準備するに十分な時間があること。

2-3-2. 通信設備は ISAF-OSR に準拠 2（カテゴリー3・4 共通）

OSR 3.29.1 e)推奨としていた日本特記は削除。

→防水ハンディーVHF 無線送受信機の搭載義務。

2-3-3.レーダーリフレクターは ISAF-OSR に準拠（カテゴリー3・4 共通）

OSR 4.10.4 の日本特記削除。（詳細は前記 1-2-2.参照）

2-3-4.ライフジャケットライトは ISAF-OSR に準拠（カテゴリー3・4 共通）

OSR 5.01.1 c)の日本特記は削除。

→ISAF-OSR に適合したライフジャケットライトの装備。

2-4.発行・施行日

2012 年 2 月末頃発行（予定）、2012 年 4 月 1 施行。

3.JSAF 外洋特別規定の基本（2010 年度発表内容と同じ）

JSAF 外洋安全委員会ホームページに JSAF 外洋特別規定の基本が掲載済み。改めて確認ください。→<http://www.jsaf-anzen.jp/1-10.html>

ISF OSR2012-2013変更箇所【速報】

2012年2月6日

カテゴリ-3

規定番号	ISF OSR2012-2013本文	参考訳(検討中)	変更内容
1.02	Responsibility of Person in Charge	艇責任者の責任	
1 1.02.1	The safety of a yacht and her crew is the sole and inescapable responsibility of the person in charge who must do his best to ensure that the yacht is fully found, thoroughly seaworthy and manned by an experienced crew who have undergone appropriate training and are physically fit to face bad weather. He must be satisfied as to the soundness of hull, spars, rigging, sails and all gear. He must ensure that all safety equipment is properly maintained and stowed and that the crew know where it is kept and how it is to be used. <u>He shall also nominate a person to take over the responsibilities of the Person in Charge in the event of his incapacitation.</u>	艇と乗組員の安全の確保は、艇の責任者の避けられない責任であり、艇の責任者は所有艇を最良の状態です十分な耐航性を有するように保持し、荒天の海にも対抗できる体力と適切なトレーニングを積んだ、経験十分なクルーを乗り組ませるように万全をつくさねばならない。艇の責任者は船体、スパー、リギン、セール及びすべての備品を確実に整備し、また安全備品が適正に維持格納され、それらの使用方法と置き場所をクルーに熟知させておかなければならない。 <u>その上艇の責任者はイベントで責任能力を無くした場合、艇の責任者を引き継ぐ候補者を指名する。</u>	下線部分文章追加
3.06	Exits-Monohulls	モノハルの出口	
2 3.06.2	Yachts first launched on or after January 2014 have a hatch with the following minimum clear openings in compliance with ISO 9094: - Circular shape: diameter 450mm; - Any other shape: minimum dimension of 380mm and minimum area of 0.18m ² . The dimension must be large enough to allow for a 380mm diameter circle to be inscribed. The measurement of the minimum clear opening is illustrated in Figure 1.	最初の進水が2014年1月以降のヨットは、ISO 9094に従って以下の最小限の障害物のない開口のハッチを持たなければならない - 円形: 直径450mm; - 他のどの形も: 380mmの最小限の寸法と0.18m ² の最小限の面積。大きさは、直径380mmの円より大きくなければならない。最小限の障害物のない開口の大きさは、図1に図示される。	2014年1月以降に進水した艇の場合、ハッチの大きさが規定された。
3 3.06.3	<i>when first launched prior to January 2014, if possible have each escape hatch in compliance with the dimensions in OSR 3.07.2(a)(ii);</i>	最初の進水が2014年1月以前の場合は、OSR 3.07.2(A) (ii)に従った大きさの脱出用ハッチを備えることを推奨する。	<推奨項目> 参考: 3.07.2 a) ii最初の進水が2003年1月以降の場合の脱出ハッチは、直径450mmの円形か円形で無い場合は乗員がフル装備の状態でも通り抜けられる隙間があること。
3.14.6	Lifeline Minimum Diameters, Required Materials, Specifications	ライフラインの最小直径、要求される材質、仕様	
4 3.14.6 a)	Single-braided High Modulus Polyethylene (HMPE) (Dyneema®/Spectra® or equivalent) rope	一重打ちの高弾性ポリエチレンロープ (HMPE) (Dyneema®/Spectra® or equivalent)	Dyneema®以外も可となった。
5 3.14.6 e)	<i>When HMPE (Dyneema®/Spectra®) is used, it shall be spliced in accordance with the manufacturer's recommended procedures.</i>	HMPE (Dyneema®/Spectra®) を使う場合はメーカー推奨の手順にてより継ぎを行う。	<推奨項目> スプライスの手順
3.24	Compass	コンパス	
6 3.24.1 b)	a magnetic compass independent of any power supply, capable of being used as a steering compass which may be hand-held	あらゆる電力供給から独立していて、操舵コンパスとして使用可能な磁気コンパス。手持ちコンパスでも可。	電源を必要としない部分が追加。

	3.28.4	Battery Systems	バッテリーシステム	
7	3.28.4 b)	All rechargeable batteries on board shall be of the sealed type from which liquid electrolyte cannot escape. Other types of battery installed on board at 1/12 may continue in use for the remainder of their service lives.	艇上のすべての充電式バッテリーは、バッテリー液が漏れることがない密封タイプであること。2012年1月時点で艇に設置されている他のタイプのバッテリーは、有効期限まで使用してもよい。	MoMu 0適用項目がMoMu 0,1,2,3へ拡大
	4.04.1	The following shall be provided: a) Jackstays: shall be provided	以下を満足しなくてはならない。 a) ジャックステイ 満足しなくてはならない。	
8	4.04.1 a) ii	comprising stainless steel 1 x 19 wire of minimum diameter 5 mm (3/16 in), high modulus polyethylene (such as Dyneema/Spectra) rope or webbing of equivalent strength;	1×19のワイヤーで最小直径5mm(3/16インチ)以上のステンレス製か、同等の強度を持つ高弾性ポリエチレン(Dyneema/Spectraもしくは同等品)ロープまたは帯ひも	ステンレスが同等強度の高規格ポリエチレンに限定。
	4.05	Fire Extinguishers Shall be provided as follows:	消火器 以下を装備すること	
9	4.05.4	A fire blanket adjacent to every cooking device with an open flame	裸火によるあらゆる料理用装置の近辺に消防カバー	MoMu 0適用項目がMoMu 0,1,2,3,4へ拡大
	4.07	Flashlight(s) and Searchlight(s)	フラッシュライトとサーチライト	
10	4.07.1 a)	The following shall be provided: a) A watertight, high-powered searchlight, suitable for searching for a person overboard at night and for collision avoidance with spare batteries and bulbs,	以下を満足しなくてはならない。 夜間に落水者を捜すことや衝突回避に適していて、予備のバッテリーと電球を付属した防水で強力なサーチライト。	サーチライトの使用目的が明記
	4.08	First Aid Manual and First Aid Kit	救急マニュアルと救急箱	
11	d)	'PAN-PAN medico a bordo' in Italian edited by Umberto Verna. www.panpan.it	ウンベルト・ヴァーナ編集の「PAN-PAN medico a bordo」(イタリア語) ホームページ www.panpan.it	<推奨項目>
12	e)	<i>Skipper's Medical Emergency Handbook by Dr Spike Briggs and Dr Campbell Mackenzie</i> www.msos.org.uk	スパイク・ブリッグス博士とキャンベル・マッケンジー博士による艇長の医学緊急ハンドブック ホームページ www.msos.org.uk	<推奨項目>
	4.10 4.10.1	Radar Reflector A passive Radar Reflector (that is, a Radar Reflector without any power) shall be provided a)	レーダーリフレクター 受動型レーダーリフレクター(いかなる動力も使わないタイプ)を装備すること レーダーリフレクターがそうであるならば、	レーダーリフレクターの条件が形状毎に明記
13	4.10.1 a) i	octahedral with triangular plates making up each pocket it must have a minimum diagonal measurement of 456 mm (18in).	各々のポケットが三角形板で構成された八面体の場合は、対角線の最小長さが456mm(18インチ)。	八面体(三角ポケット)
14	4.10.1 a) ii	octahedral with circular sector plates making up each pocket it must have a minimum diameter of 304mm (12in).	各々のポケットが円形板で構成された八面体の場合は、直径の最小長さが304mm(12インチ)。	八面体(円形ポケット)
15	4.10.1 a) iii	not octahedral it must have a documented RCS(radar cross-section) of not less than 10 m ² at 0° elevation and be capable of performance around 360° in azimuth.	八面体でない場合は、水平面で少なくとも10m ² のRCS(レーダー横断面)を持ち、360°全方位で性能が発揮出来なければならない。	八面体以外
16	4.10.2	<i>The most effective radar response from a yacht may be provided by an RTE (Radar Target Enhancer) which may be on board in addition to the required passive reflector. An RTE should conform to ISO8729-2:2009. An RTE is strongly recommended.</i>	ヨットからの最も効果的なレーダー反射はRTE(Radar Target Enhancer)を使用することによって得られる。この装置は義務付けられている受動型レーダーリフレクターに補足して装備されることが望ましい。RTEはISO8729-2:2009に適合する。RTEの使用を強く推奨する	<推奨項目> ITU-R1176から ISO8729-2:2009へ変更

17	4.10.3	When available, a passive radar reflector in compliance with ISO8729-1:2010 will offer improved performance over earlier models and has a size typified by a cylinder of not more than weight 5kg, height 750mm and diameter 300mm.	利用可能な場合は、ISO8729-1:2010に適合する受動型レーダーリフレクター。初期モデルの性能向上を果たし重量5kg、高さ750mm、直径300mm以下の円筒型機種である。	<推奨項目> ISOを適用
18	4.10.4	S(3GHz) band radar is often used by ships in bad weather to complement X (9GHz) band radar. On S(3GHz) band a passive reflector offers about 1/10 the response obtained on the X (9GHz) band. Unless specifically designed to operate in the S(3GHz) band, an RTE will provide no response at all.	Sバンド(3GHz)レーダーは悪天候の中、Xバンド(9GHz)レーダーを補うために船舶でよく使われる。Sバンド(3GHz)では受動的リフレクターは、Xバンド(9GHz)で得られる1/10程度の反射しか得られない。もしSバンド(3GHz)で動くように特別設計されていなければ、RTEはまったく反応しない。	<推奨項目> 最後部文章が追加
	4.22	Lifebuoys	ライフブイ	
19	4.22.5	It is recommended that the colour of each lifebuoy be a safety colour in the yellow-red range.	ライフブイの色は黄色から赤の範囲の安全色であることを推奨する。	<推奨項目> ライフブイの色が追加
	4.26	Storm & Heavy Weather Sails	ストーム・ヘビーウェザーセール	
	4.26.2	High Visibility	視認性(目立つこと)	
20	4.26.2 a)	Every storm jib shall either be of highly-visible coloured material (eg dayglo pink, orange or yellow) or have a highly-visible coloured patch at least 50% of the area of the sail (up to a maximum diameter of 3m) added on each side; and also that a rotating wing mast should have a highly-visible coloured patch on each side. A storm sail purchased after January 2014 shall have the material of the body of the sail a highly-visible colour.	あらゆるストームジブは視認性が高い色の素材(例えば蛍光ピンク、オレンジまたは黄色)であるか、セールの両側にセールエリアの少なくとも50%(最大直径3m)の視認性が高いあて布。回転式ウイングマストの場合は両側の視認性が高い色のあて布を持たなければならない。2014年1月以降に購入されるストームセール本体の素材は、視認性が高い色であること。	推奨項目から義務項目へ変更。あて布の大きさも記載。
21	4.26.4 b)	for each storm or heavy-weather jib, a means to attach the luff to the stay, independent of any luffgroove device. A heavy weather jib shall have the means of attachment readily available. A storm jib shall have the means of attachment permanently attached; Storm and heavy weather jib areas shall be calculated as: $(0.255 \times \text{luff length} \times (\text{luff perpendicular} + 2 \times \text{half width}))$ * To apply to sails made in January 2012 and after	ストームまたはヘビーウェザージブをステーに装着する手段はラフグループ装置からは独立していること。ヘビーウェザージブはステーへの装着用装置がいつでも使える状態であること。ストームジブは装着装置を恒常的に取り付けてあること。ストームおよびヘビーウェザージブの大きさは以下の計算による: $(0.255 \times \text{ラフ長} \times (\text{ラフ垂線} + 2 \times \text{2分の1幅}))$ * 2012年1月以降に製作されるセールに適用される。	ストームおよびヘビーウェザージブの大きさの測り方規定 * 測り方の適用月日を日本においては2012年4月1日以降に変更予定。
22	4.26.4 f)	a heavy-weather jib (or heavy-weather sail in a yacht with no forestay) of area not greater than 13.5% height of the foretriangle squared;	ヘビーウェザージブ(フォアステイの無いヨットの場合はヘビーウェザーセール)の面積はフォアトライアングルの高さの二乗の面積の13.5%以下	「リーフポイントがないこと」が削除
	5.01	Lifejacket	ライフジャケット	
23	5.01.1 a) i	In accordance with ISO 12402 - 3 (Level 150) or equivalent, including EN 396 or UL 1180	ISO 12402-3(Level 150)に適合するか同等品(EN396またはUL1180を含む)	「EN396またはUL1180を含む」が追加

24	5.01.1 a) ii	<p>Lif jackets manufactured after 1 January 2012 shall be in accordance with ISO 12402-3 (Level150) and shall be fitted with:</p> <ul style="list-style-type: none"> an emergency light in accordance with either ISO 12402-8 or SOLAS LSA code 2.2.3. a sprayhood in accordance with ISO 12402-8. a full deck safety harness in accordance with ISO 12401 (ISO 1095) including a crotch or thigh strap (holding down device) as specified in ISO 12401 (ISO 1095). If of an inflatable type either <ul style="list-style-type: none"> (a) automatic, manual and oral inflation or (b) manual and oral inflation 	<p>2012年1月1日以降製造のライフジャケットはISO 12402-3(Level150)に適合し、さらに以下に適合していること、</p> <ul style="list-style-type: none"> ISO 12402-8かSOLAS LSAコード2.2.3に従う非常用灯火。 ISO 12402-8に適合したスプレーフード ISO 12401 (ISO 1095)に適合した股紐か腿紐(固定装置)を備えISO 12401 (ISO 1095)に適合したフルデッキセーフティーハーネス。 インフレーターブルタイプの場合は、 <ul style="list-style-type: none"> (a)自動、手動、口を使って膨らませられるか (b)手動、口を使って膨らませられる 	ISO準拠
25	5.01.1 a) Notes	<p>ISO 12402 requires Level 150 lifejackets to be fitted with a mandatory whistle and retro-reflective material. Also, when fitted with a safety harness, ISO 12402 requires that this shall be the full safety harness in accordance with ISO 12401. Any equivalent lifejacket shall have equal requirements.</p> <p>Persons of larger than average build are generally more buoyant than those of average build and so do not require a lifejacket with greater levels of flotation. Wearing a Level 275 lifejacket may hamper entry into liferafts.</p>	<p>ISO 12402はLevel 150のライフジャケットにホイッスルと夜間反射材の装着を義務づけている。さらにISO 12402はセーフティハーネスと同時に装着時には、ISO 12401に適合したフルセーフティハーネスとなることを要求している。全ての同等なライフジャケットは同等な必需品を備えること。</p> <p>標準的な体重より大きな人は標準的な人より浮力が必要である。そして標準的な人々は浮力を持ったライフジャケットを必要としない。Level 275のライフジャケット装着時はライフラフとへの乗り込みを阻害するかもしれない。</p>	OSR2010-2011の5.01.1a)に記載されていたことが移動。
26	5.01.1 b) Notes	<p>The function of lifejacket crotch/thigh straps is to hold the buoyancy element down. A crew member before a race should adjust a lifejacket to fit then retain that lifejacket for the duration of the race. Correct adjustment is fundamental to the lifejacket functioning correctly.</p>	<p>ライフジャケットの股紐/腿紐の機能は、浮力抑制である。乗員はレース期間中、ライフジャケットがフィットするようにレースの前にライフジャケットが調整しなければならない。正しい調整は、正しくライフジャケットを機能させる基本である。</p>	事前調整の注意書きが追加
27	5.02.6	<p><i>Warning - a safety line and safety harness are not designed to tow a person in the water and it is important that the shortest safety line length possible be used with a harness to minimise or eliminate the risk of a person's torso becoming immersed in water outside the boat, especially when working on the foredeck. 1m safety lines or the midpoint snaphook on a 2m line should be used for this purpose. The diligent use of a properly adjusted safety harness and the shortest safety line practicable is regarded as by far the most effective way of preventing man overboard incidents.</i></p>	<p>警告: セーフティハーネスは水中の人を牽引するようには作られてはいない。可能な限り短いセーフティラインを用いたハーネスは艇外で身体が水中に沈む危険を防ぐか最小限にするために重要である。特にフォアデッキでの作業時には、1mのセーフティラインか中間スナップフック付き2mラインが、この目的のために使われなければならない。きちんと調整されたセーフティハーネスと、実用的で最短のセーフティラインの常用が落水防止のもっとも効果的な手段です。</p>	<推奨項目> 短いセーフティラインの効果が明記
28	6.05.3	<p>At least one member of the crew shall be familiar with First Aid procedures, hypothermia, drowning, cardiopulmonary resuscitation and relevant communications systems (see OSR 6.02.7 and 6.03.3).</p>	<p>乗員の少なくとも1人は救急処置、低体温症、溺れること、心肺蘇生と関連する通信システムに精通していること。 (OSR 6.02.7と6.03.4参照)</p>	drowning, cardiopulmonary resuscitation and relevant communications systemsが追加
29	6.05.4	<p><i>An example model first aid training course is included in Appendix N.</i></p>	<p>救急処置トレーニングコースの参考例は、附則Nに含まれる。</p>	<推奨項目>

ISF OSR2012-2013変更箇所【速報】

2012年2月6日

カテゴリ-4

()内の番号はカテゴリ-43変更点の通し番号

規定番号	ISF OSR2012-2013本文	参考訳(検討中)	変更ポイント
1.02	Responsibility of Person in Charge	艇責任者の責任	
1 1.02.1	The safety of a yacht and her crew is the sole and inescapable responsibility of the person in charge who must do his best to ensure that the yacht is fully found, thoroughly seaworthy and manned by an experienced crew who have undergone appropriate training and are physically fit to face bad weather. He must be satisfied as to the soundness of hull, spars, rigging, sails and all gear. He must ensure that all safety equipment is properly maintained and stowed and that the crew know where it is kept and how it is to be used. He shall also <u>nominate a person to take over the responsibilities of the Person in Charge in the event of his incapacitation.</u>	艇と乗組員の安全の確保は、艇の責任者の避けられない責任であり、艇の責任者は所有艇を最良の状態です十分な耐航性を有するように保持し、荒天の海にも対抗できる体力と適切なトレーニングを積んだ、経験十分なクルーを乗り組ませるように万全をつくさねばならない。艇の責任者は船体、スパー、リギン、セール及びすべての備品を確実に整備し、また安全備品が適正に維持格納され、それらの使用法と置き場所をクルーに熟知させておかなければならない。その上艇の責任者はイベントで責任能力を無くした場合、艇の責任者を引き継ぐ候補者を指名する。	下線部分文章追加
3.06	Exits-Monohulls	モノハルの出口	
2 3.06.2	Yachts first launched on or after January 2014 have a hatch with the following minimum clear openings in compliance with ISO 9094: - Circular shape: diameter 450mm; - Any other shape: minimum dimension of 380mm and minimum area of 0.18m ² . The dimension must be large enough to allow for a 380mm diameter circle to be inscribed. The measurement of the minimum clear opening is illustrated in Figure 1.	最初の進水が2014年1月以降のヨットは、ISO 9094に従って以下の最小限の障害物のない開口のハッチを持たなければならない - 円形: 直径450mm; - 他のどの形も: 380mmの最小限の寸法と0.18m ² の最小限の面積。大きさは、直径380mmの円より大きくななければならない。最小限の障害物のない開口の大きさは、図1に図示される。	2014年1月以降に進水した艇の場合、ハッチの大きさが規定された。
3 3.06.3	<i>when first launched prior to January 2014, if possible have each escape hatch in compliance with the dimensions in OSR 3.07.2(a)(ii);</i>	最初の進水が2014年1月以前の場合は、OSR 3.07.2(A) (ii)に従った大きさの脱出用ハッチを備えることを推奨する。	<推奨項目> 参考: 3.07.2 a) ii最初の進水が2003年1月以降の場合の脱出ハッチは、直径450mmの円形か円形で無い場合は乗員がフル装備の状態でも通り抜けられる隙間があること。
3.14.6	Lifeline Minimum Diameters, Required Materials, Specifications	ライフラインの最小直径、要求される材質、仕様	
4 3.14.6 a)	Single-braided High Modulus Polyethylene (HMPE) (Dyneema®/Spectra® or equivalent) rope	一重打ちの高弾性ポリエチレンロープ (HMPE) (Dyneema®/Spectra® or equivalent)	Dyneema®以外も可となった。
5 3.14.6 e)	<i>When HMPE (Dyneema®/Spectra®) is used, it shall be spliced in accordance with the manufacturer's recommended procedures.</i>	HMPE (Dyneema®/Spectra®) を使う場合はメーカー推奨の手順にてより継ぎを行う。	<推奨項目> スプライスの手順
4.05	Fire Extinguishers Shall be provided as follows:	消火器 以下を装備すること	
6(9) 4.05.4	A fire blanket adjacent to every cooking device with an open flame	裸火によるあらゆる料理用装置に近辺に消防カバー	MoMu 0適用項目がモノMoMu 0,1,2,3,4へ拡大

	4.07	Flashlight(s) and Searchlight(s)	フラッシュライトとサーチライト	
7(10)	4.07.1 a)	The following shall be provided: A watertight, high-powered searchlight, suitable for searching for a person overboard at night and for collision avoidance with spare batteries and bulbs,	以下を満足しなくてはならない。 夜間に落水者を捜すことや衝突回避に適している、予備のバッテリーと電球を付属した防水で強力なサーチライト。	サーチライトの使用目的が明記
	4.08	First Aid Manual and First Aid Kit	救急マニュアルと救急キット	
8(11)	d)	'PAN-PAN medico a bordo' in Italian edited by Umberto Verna. www.panpan.it	ウンベルト・ヴァーナ編集の「PAN-PAN medico a bordo」(イタリア語) ホームページ www.panpan.it	<推奨項目>
9(12)	e)	Skipper's Medical Emergency Handbook by Dr Spike Briggs and Dr Campbell Mackenzie www.msos.org.uk	スパイク・ブリッグス博士とキャンベル・マッケンジー博士による艇長の医学緊急ハンドブック ホームページ www.msos.org.uk	<推奨項目>
	4.10 4.10.1	Radar Reflector A passive Radar Reflector (that is, a Radar Reflector without any power) shall be provided	レーダーリフレクター 受動型レーダーリフレクター(いかなる動力も使わないタイプ)を装備すること	レーダーリフレクターの条件が形状毎に明記
	a)	If a radar reflector is	レーダーリフレクターがそうであるならば、	
10(1 3)	4.10.1 a) i	octahedral with triangular plates making up each pocket it must have a minimum diagonal measurement of 456 mm (18in).	各々のポケットが三角形板で構成された八面体の場合は、対角線の最小長さが456mm(18インチ)。	八面体(三角ポケット)
11(1 4)	4.10.1 a) ii	octahedral with circular sector plates making up each pocket it must have a minimum diameter of 304mm (12in).	各々のポケットが円形板で構成された八面体の場合は、直径の最小長さが304mm(12インチ)。	八面体(円形ポケット)
12(1 5)	4.10.1 a) iii	not octahedral it must have a documented RCS(radar cross-section) of not less than 10 m ² at 0° elevation and be capable of performance around 360° in azimuth.	八面体でない場合は、水平面で少なくとも10m ² のRCS(レーダー横断面)を持ち、360°全方位で性能が発揮出来なければならない。	八面体以外
13(1 6)	4.10.2	The most effective radar response from a yacht may be provided by an RTE (Radar Target Enhancer) which may be on board in addition to the required passive reflector. An RTE should conform to ISO8729-2:2009. An RTE is strongly recommended.	ヨットからの最も効果的なレーダー反射はRTE(Radar Target Enhancer)を使用することによって得られる。この装置は義務付けられている受動型レーダーリフレクターに補足して装備されることが望ましい。RTEはISO8729-2:2009に適合する。RTEの使用を強く推奨する	<推奨項目> ITU-R1176からISO8729-2:2009へ変更
14(1 7)	4.10.3	When available, a passive radar reflector in compliance with ISO8729-1:2010 will offer improved performance over earlier models and has a size typified by a cylinder of not more than weight 5kg, height 750mm and diameter 300mm.	利用可能な場合は、ISO8729-1:2010に適合する受動型レーダーリフレクター。初期モデルの性能向上を果たし重量5kg、高さ750mm、直径300mm以下の円筒型機種である。	<推奨項目> ISOを適用
15(1 8)	4.10.4	S(3GHz) band radar is often used by ships in bad weather to complement X (9GHz) band radar. On S(3GHz) band a passive reflector offers about 1/10 the response obtained on the X (9GHz) band. Unless specifically designed to operate in the S(3GHz) band, an RTE will provide no response at all.	Sバンド(3GHz)レーダーは悪天候の中、Xバンド(9GHz)レーダーを補うために船舶でよく使われる。Sバンド(3GHz)では受動的リフレクターは、Xバンド(9GHz)で得られる1/10程度の反射しか得られない。もしSバンド(3GHz)で動くように特別設計されていなければ、RTEはまったく反応しない。	<推奨項目> 最後部文章が追加
	4.22	Lifebuoys	ライフブイ	
16(1 9)	4.22.5	It is recommended that the colour of each lifebuoy be a safety colour in the yellow-red range.	ライフブイの色は黄色から赤の範囲の安全色であることを推奨する。	<推奨項目> ライフブイの色が追加

	4.26	Storm & Heavy Weather Sails	ストーム、ヘビーウェザーセール	
	4.26.2	High Visibility	視認性(目立つこと)	
17(2 0)	4.26.2 a)	Every storm jib shall either be of highly-visible coloured material (eg dayglo pink, orange or yellow) or have a highly-visible coloured patch at least 50% of the area of the sail (up to a maximum diameter of 3m) added on each side; and also that a rotating wing mast should have a highly-visible coloured patch on each side. A storm sail purchased after January 2014 shall have the material of the body of the sail a highly-visible colour.	あらゆるストームジブは視認性が高い色の素材(例えば蛍光ピンク、オレンジまたは黄色)であるか、セールの両側にセールエリアの少なくとも50%(最大直径3m)の視認性が高い布。回転式ウイングマストの場合は両側の視認性が高い色の布を持たなければならない。2014年1月以降に購入されるストームセール本体の素材は、視認性が高い色であること。	ストームおよびヘビーウェザージブの大きさの測り方規定 * 測り方の適用月日を日本においては2012年4月1日以降に変更予定。
18(2 1)	4.26.4 b)	for each storm or heavy-weather jib, a means to attach the luff to the stay, independent of any luffgroove device. A heavy weather jib shall have the means of attachment readily available. A storm jib shall have the means of attachment permanently attached; Storm and heavy weather jib areas shall be calculated as: (0.255 x luff length x (luff perpendicular + 2 x half width))* To apply to sails made in January 2012 and after	ストームまたはヘビーウェザージブをステーに装着する手段はラフグループ装置からは独立していること。ヘビーウェザージブはステーへの装着用装置がいつでも使える状態であること。ストームジブは装着装置を恒常的に取り付けてあること。 ストームおよびヘビーウェザージブの大きさは以下の計算による: (0.255xラフ長x(ラフ垂線+ 2×2分の1幅))* 2012年1月以降に製作されるセールに適用される。	ストームおよびヘビーウェザージブの大きさを規定
19(2 2)	4.26.4 f)	a heavy-weather jib (or heavy-weather sail in a yacht with no forestay) of area not greater than 13.5% height of the foretriangle squared;	ヘビーウェザージブ(フォアステイの無いヨットの場合はヘビーウェザーセールの)の面積はフォアトライアングルの高さの二乗の面積の13.5%以下	「リーフポイントがないこと」が削除
20	4.26.4 g)	either a storm trysail as defined in OSR 4.26.4(c), or mainsail reefing to reduce the luff by at least 40%.	【この項目は削除】 本規定4.26.4(c)に適合したストームトライスルか、もしくはラフの長さを40%以上リーフできるメインセールリーフ装置を備えること。	カテゴリ-4からこの項目は削除された
	5.01	Lifejacket	ライフジャケット	
21(2 3)	5.01.1 a) i	In accordance with ISO 12402 - 3 (Level 150) or equivalent, including EN 396 or UL 1180	ISO 12402-3(Level 150)に適合するか同等品 (EN396またはUL1180を含む)	「EN396またはUL1180を含む」が追加
22(2 4)	5.01.1 a) ii	Lifejackets manufactured after 1 January 2012 shall be in accordance with ISO 12402 -3 (Level150) and shall be fitted with: · an emergency light in accordance with either ISO 12402-8 or SOLAS LSA code 2.2.3. · a sprayhood in accordance with ISO 12402-8. · a full deck safety harness in accordance with ISO 12401 (ISO 1095) including a crotch or thigh strap (holding down device) as specified in ISO 12401 (ISO 1095). · If of an inflatable type either (a) automatic, manual and oral inflation or (b) manual and oral inflation	2012年1月1日以降製造のライフジャケットはISO 12402-3(Level150)に適合し、さらに以下に適合していること、 ・ISO 12402-8かSOLAS LSAコード2.2.3に従う非常用灯火。 ・ISO 12402-8に適合したスプレーフード ・ISO 12401 (ISO 1095)に適合した股紐か腿紐(固定装置)を備えISO 12401 (ISO 1095)に適合したフルデッキセーフティーハーネス。 ・インフレータータイプの場合は、 (a)自動、手動、口を使って膨らませられるか (b)手動、口を使って膨らませられる	ISO準拠

23(2 5)	5.01.1 a) Notes	ISO 12402 requires Level 150 lifejackets to be fitted with a mandatory whistle and retro-reflective material. Also, when fitted with a safety harness, ISO 12402 requires that this shall be the full safety harness in accordance with ISO 12401. Any equivalent lifejacket shall have equal requirements. Persons of larger than average build are generally more buoyant than those of average build and so do not require a lifejacket with greater levels of flotation. Wearing a Level 275 lifejacket may hamper entry into liferafts.	ISO 12402はLevel 150のライフジャケットにホイッスルと夜間反射材の装着を義務づけている。さらにISO 12402はセーフティハーネスと同時装着時には、ISO 12401に適合したフルセーフティハーネスとなることを要求している。全ての同等なライフジャケットは同等な必需品を備えること。 標準的な体重より大きな人は標準的な人より浮力が必要である。そして標準的な人々は、大浮力を持ったライフジャケットを必要としない。Level 275のライフジャケット装着時はライフラフとへの乗り込みを阻害するかもしれない。	OSR2010-2011の5.01.1a)に記載されていたことが移動。
24(2 6)	5.01.1 b) Notes	The function of lifejacket crotch/thigh straps is to hold the buoyancy element down. A crew member before a race should adjust a lifejacket to fit then retain that lifejacket for the duration of the race. Correct adjustment is fundamental to the lifejacket functioning correctly.	ライフジャケットの股紐/腿紐の機能は、浮力抑制である。乗員はレース期間中、ライフジャケットがフィットするようにレースの前にライフジャケットが調整しなければならない。正しい調整は、正しくライフジャケットを機能させる基本である。	事前調整の注意書きが追加
25(2 7)	5.02.6	<i>Warning – a safety line and safety harness are not designed to tow a person in the water and it is important that the shortest safety line length possible be used with a harness to minimise or eliminate the risk of a person’s torso becoming immersed in water outside the boat, especially when working on the foredeck. 1m safety lines or the midpoint snaphook on a 2m line should be used for this purpose. The diligent use of a properly adjusted safety harness and the shortest safety line practicable is regarded as by far the most effective way of preventing man overboard incidents.</i>	警告: セーフティハーネスは水中の人を牽引するようには作られてはいない。可能な限り短いセーフティラインを用いたハーネスは艇外で身体が水中に沈む危険を防ぐか最小限にするために重要である。特にフォアデッキでの作業時には、1mのセーフティラインか中間スナップフック付き2mラインが、この目的のために使われなければならない。きちんと調整されたセーフティハーネスと、実用的で最短のセーフティラインの常用が落水防止のもっとも効果的な手段です。	<推奨項目> 短いセーフティラインの効果が明記
26(2 8)	6.05.3	At least one member of the crew shall be familiar with First Aid procedures, hypothermia, drowning, cardiopulmonary resuscitation and relevant communications systems (see OSR 6.02.7 and 6.03.3).	乗員の少なくとも1人は救急処置、低体温症、溺れること、心肺蘇生と関連する通信システムに精通していること。 (OSR 6.02.7と6.03.4参照)	drowning, cardiopulmonary resuscitation and relevant communications systemsが追加
27(2 9)	6.05.4	<i>An example model first aid training course is included in Appendix N.</i>	救急処置トレーニングコースの参考例は、附則Nに含まれる。	<推奨項目>

JSAF外洋特別規定日本特記・注釈変更項目【予定】

2012年2月6日

カテゴリー3

規定番号	JSAF外洋特別規定2010-2011	JSAF外洋特別規定2012-2013(予定)
1 3.08.2	[Mo3特記-1]ISOに準じる物も可として以下の通りとする。 3.08.2 コーチルーフ側面や最大船幅ステーションより前方に位置する内側に開く蓋やカバー、また0.071m ² (110平方インチ)を超える大きさの物は「ISO12216 カテゴリーA」に従いデザインされた物が同等品で、かつ「海上で開けるな」という注意書きを明示すること。本規定3.02.1 記載事項に注意	○継続
2 3.09.8	[Mo3特記-2]コックピット後端部に開閉式蓋を持つヨットの場合は、蓋と艇体との隙間を上記a)b)における開口とみなす。	△削除:別途解釈表に記載。
3 3.14.5	[Mo3特記-3]中間ライフラインの装備を推奨する。	△削除:別途解釈表に記載。
4 3.27.4	[Mo3特記事項-4]航海灯がマストトップとライフライン直下の2カ所に設置されて、2個のバッテリーをそれぞれが切り替え点灯可能な物は可とする。	△削除:別途解釈表に記載。
5	携帯電話が通話可能な範囲内のレースに限り、レース主催者の判断で携帯電話に変更する事も認める。ただし、以下の条件を満たしレース公示に明記することとする。 JSAF外洋特別規定3.29.1にかかわらず、以下の条件にてVHFに代わって携帯電話を認める。 i.艇のバッテリーないしはその他の方法で充電出来る事もしくは予備バッテリーを持っていること。 ii.専用のポリウレタンなどの水密ケースを備える事 iii.可能な限り外部アンテナを持つ事。	×廃止
6 3.29.1 b)iii	[Mo3特記-5]以下の日本国内同等品も可とする。 RG8X=3D-2V / RG8U=5D-2V / 9913F=10D-2V / LMR600=xx600	○継続
7 3.29.1 b)iv	[Mo3特記-6]71チャンネル、74チャンネルを追加する。	○継続
8 3.29.1 e)	[Mo3特記-7]3.29.1 e)は強い推奨とする。	×廃止
9 4.05.2	[Mo3特記-8]日本国内においてはJCIの検査を満足するものであることとする。 ボンベット相当の自動消火器は個数としては認められない。	1行目=○継続。2行目=△削除:別途解釈表に記載。
10 4.07.1 a) b)	[Mo3 特記事項]4.07.1a)、b)のライトが LED タイプのライトには予備電球は搭載しなくて良い。ただし、予備のライトの搭載を推奨する。	○継続
11 4.08.1	[Mo3特記-9]日本国内においては以下の書籍も推奨対象とする。 「セーリングにおける救急医療キットと対応マニュアル」(日本セーリング連盟) 「とっさの手当てがいのちを救う」(日本赤十字社)	○継続
12 4.10.4	[Mo3特記-10]本規定4.10のレーダーリフレクターは日本国内で入手が困難であり推奨とする。従前のものも可とする。	×廃止
13 4.23.1	[Mo3特記-11]上記表13に拘らず JSAF-OSRIにおいて下表13-2とする。	○継続
14 4.23.2 a) b)	[特記事項]a)トーチ、b)スポットライトがLEDタイプの場合には予備電球は搭載しなくて良い。ただし、予備のライトの搭載を推奨する。	○継続
15 4.26.4 b)	[特記事項]日本国内においては2012年4月1以降製作されセールに適用される。	◎新規
16 5.01.1 a) b)	[Mo3特記-12]規定5.01.1(a)および(b)に関わらず、JSAF-OSRIにおいてはJCI検査を満足するものをライフジャケットとして認める。	○継続
17 5.01.1 c)	[Mo3特記-13]規定5.01.1(c)のライフジャケットライトは2009年度の公示で認定した物の使用も認める	×廃止
18 5.02.3	[Mo3特記-14]規定5.02.3は、JSAF-OSRIにおいては推奨とする。	○継続

ISF OSR2012-2013日本注釈変更項目【予定】

規定番号	JSAF外洋特別規定2010-2011	JSAF外洋特別規定2012-2013(予定)
1 1.03	<JSAF注釈1:単に「OSR」と表記されたものはISAFのOSRを指す。JSAF外洋特別規定は「JSAF-OSR」を略称とする。>	◎特記事項に変更
2 3.04.3	<JSAF注釈2:レース主催団体が他のハンディキャップシステムを採用している場合はそのシステムにも留意すること。>	△削除:別途解釈表に記載。
3 3.24.1	<JSAF注釈3:磁気コンパス2台。そのうち1台は艇に恒久的に取り付け済み>	△削除:別途解釈表に記載。
4 4.01.2	<JSAF注釈4:手段の例としてポータブルセールナンバー、デッキに記載など>	△削除:別途解釈表に記載。
5 4.06.1	<JSAF注釈5: ORC SR委員長(現ISAF)から以下の解釈を承認されている。 ここで「即座に使用できる状態」とは、アンカーとチェーンはシャックルで繋がれている事、ロープはチェーンに繋がれている必要はないが、整然とコイルされている事をいう>	△削除:別途注釈表に記載。
6 4.26.4 c)	<JSAF注釈5:4.26.4 c)はモノハル0,1,2およびマルチハル0,1,2に適用されている規定だが、4.26.4 g)に指定された項目のため記載>	○継続
7 4.26.4 g)	<JSAF注釈6:展開するセール部分がラフの60%未満>	△削除:別途解釈表に記載。
8 5.02.4	<JSAF注釈7:アジャスタブルで体格が違うクルー間でも全員が着用可能なもの>	△削除:別途解釈表に記載。

JSAF外洋特別規定日本特記・注釈変更項目【予定】

2012年2月6日

カテゴリー4

規定番号	JSAF外洋特別規定2010-2011	JSAF外洋特別規定2012-2013(予定)
1 3.08.2	[Mo4特記-1]ISOに準じる物も可として以下の通りとする。 3.08.2 コーチルーフ側面や最大船幅ステーションより前方に位置する内側に開く蓋やカバー、また0.071m ² (110平方インチ)を超える大きさの物は「ISO12216 カテゴリーA」に従いデザインされた物が同等品で、かつ「海上で開けるな」という注意書きを明示すること。本規定3.02.1 記載事項に注意	○継続
2 3.09.8	[Mo4特記-2]コックピット後端部に開閉式蓋を持つヨットの場合は、蓋と艇体との隙間を上記a)b)における開口とみなす。	△削除:別途解釈表に記載。
3 3.14.5	[Mo4特記-3]中間ライフラインの装備を推奨する。	△削除:別途解釈表に記載。
4 3.29.1 e)	[Mo4特記-4]3.29.1 e)は強い推奨とする。	×廃止
5 4.05.2	[Mo4特記-5]日本国内においてはJCIの検査を満足するものであることとする。 ボンベット相当の自動消火器は個数としては認められない。	1行目=○継続。2行目=△削除:別途解釈表に記載。
6 4.07.1 b)	[Mo4 特記事項]4.07.1a), b)のライトが LED タイプのライトには予備電球は搭載しなくて良い。ただし、予備のライトの搭載を推奨する。	○継続
7 4.08.1	[Mo4特記-6]日本国内においては以下の書籍も推奨対象とする。 「セーリングにおける救急医療キットと対応マニュアル」(日本セーリング連盟) 「とっさの手当てがいのちを救う」(日本赤十字社)	○継続
8 4.10.4	[Mo4特記-7]本規定4.10のレーダーリフレクターは日本国内で入手が困難であり推奨とする。従前のものも可とする。	×廃止
9 4.23.1	[Mo4特記-8]上記表13に拘らずJSAF-OSRIにおいて下表13-2とする。	○継続
10 4.23.2 a) b)	[特記事項]a)トーチ、b)スポットライトがLEDタイプの場合には予備電球は搭載しなくて良い。ただし、予備のライトの搭載を推奨する。	○継続
11 4.26.4 b)	[特記事項]日本国内においては2012年4月1以降製作されセールに適用される。	◎新規
12 5.01.1 a) b)	[Mo4特記-9]規定5.01.1(a)および(b)に関わらず、JSAF-OSRIにおいてはJCI検査を満足するものをライフジャケットとして認める。	○継続
13 5.01.1 c)	[Mo4特記-10]規定5.01.1(c)のライフジャケットライトは2009年度の公示で認定した物の使用も認める	×廃止

ISF OSR2012-2013日本注釈変更項目【予定】

規定番号	JSAF外洋特別規定2010-2011	JSAF外洋特別規定2012-2013(予定)
1 1.03	<JSAF注釈1:単に「OSR」と表記されたものはISAFのOSRを指す。 JSAF外洋特別規定は「JSAF-OSR」を略称とする。>	◎特記事項に変更
2 3.04.3	<JSAF注釈2:レース主催団体が他のハンディキャップシステムを採用している場合はそのシステムにも留意すること。>	△削除:別途解釈表に記載。
4 4.01.2	<JSAF注釈3:手段の例としてポータブルセールナンバー、デッキに記載など>	△削除:別途解釈表に記載。
5 4.06.1	< ORC SR委員長(現ISAF)から以下の解釈を承認されている。 ここで「即座に使用できる状態」とは、アンカーとチェーンはシャックルで繋がれている事、ロープはチェーンに繋がれている必要はないが、整然とコイルされている事をいう>	△別途注釈表に記載。
6 4.26.4 c)	<JSAF注釈4:4.26.4 c)はモノハル0,1,2およびマルチハル0,1,2に適用されている規定だが、4.26.4 g)に指定された項目のため記載>	○継続
7 4.26.4 g)	<JSAF注釈5:展開するセール部分がラフの60%未満>	△削除:別途解釈表に記載。

JSAF外洋特別規定 解釈表【予定】

2012年2月4日

規定番号	JSAF外洋特別規定2012-2013	備考
1 3.04.3	レース主催団体が他のハンディキャップシステムを採用している場合はそのシステムにも留意すること。	
2 3.09.8	コックピット後端部に開閉式蓋を持つヨットの場合は、蓋と艇体との隙間を上記a)b)における開口とみなす。	
3 3.14.5	中間ライフラインの装備を推奨する。	
4 3.24.1	磁気コンパス2台。そのうち1台は艇に恒久的に取り付け済み	
5 3.27.4	航海灯がマストトップとライフライン直下の2カ所に設置されて、2個のバッテリーをそれぞれが切り替え点灯可能な物は可とする。	
6 4.01.2	手段の例としてポータブルセールナンバー、デッキに記載など	
7 4.05.2	ボンペット相当の自動消火器は個数としては認められない。	
8 4.06.1	ORC SR委員長(現ISAF)から以下の解釈を承認されている。 ここで「即座に使用できる状態」とは、アンカーとチェーンはシャックルで繋がれている事、ロープはチェーンに繋がれている必要はないが、整然とコイルされている事をいう	
9 4.26.4 g)	縮帆後展開するセール部分がラフの60%未満	
10 5.02.4	アジャスタブルで体格が違うクルー間でも全員が着用可能なもの	